



9月芽室町定例会議 『菊池』の一般質問



出没は農地から市街地へ — 芽室のヒグマ対策、次の一手を迫る! —



町民の命と暮らしを守るヒグマ対策の再構築について

近年、全国的にクマの出没や人身事故が増加する中、芽室町においてもヒグマの出没が増加傾向にあり、さらに市街地に近い場所での目撃も確認されるなど、町民の日常生活や農業に深刻な影響を及ぼす可能性が高まっています。

本町では「第5期芽室町総合計画後期実施計画」において「農作物有害鳥獣対策の強化」を掲げ、農業者の自衛意識の醸成などを進めてきましたが、昨今の深刻な事例を踏まえると、ヒグマ対策は農村部に限らず、市街地も含めた包括的な視点が求められており、町民の命と暮らしを守る安全安心の確保は、町政における最優先課題の一つであることから、以下3点について、町長の見解を伺います。

質問①: 「農作物有害鳥獣対策の強化」における「ヒグマ対策」について、これまでの取組成果、主たる課題及び今後の対策について、見解を伺います。

質問②: 「ヒグマ」の出没場所が広範多岐にわたる中、「有害鳥獣対策」と並行して「安全・安心に暮らせる生活環境づくり」の視点での対策も急務かつ重要と考えますが、庁内の体制強化と今後の対応について、見解を伺います。

質問③: 「ヒグマから町民の命と暮らしを守る」前提として、自然との共生も不可欠な視点であり、町民はもとより町外から訪れる方を含めて、事故に遭遇しない、させないための予防や対処に関する対策も重要と考えますが、課題認識と展望について、見解を伺います。

今回の一般質問では、 今回の一般質問では、ヒグマ対策の実効性を「被害額減少」で終わらせず、多角的に検証する必要性を訴えました。被害額や捕獲件数に加え、市街地での出没・通報件数を整理・公表する仕組みを整えるべきと指摘しました。さらに、緊急時の最終指揮部署を明確にし、緊急銃猟制度を実効性あるものとするため、人材確保・訓練・町民周知を進める必要性を示しました。加えて、市街地対応マニュアルの早期策定と訓練反映、通報窓口の夜間・休日を含めた周知徹底、防災無線や安心メールなど多重的な情報伝達体制の強化を提案。観光客や登山者には、町が導入を検討している「ひぐまっぷ」を早期に運用し、登山口や観光施設での掲示や旅行事業者との連携による事前周知を求めました。町長には、残任期で具体的成果を示し、次期町政へ責任ある引継ぎを行うよう迫りました。

一般質問の録画中継はこちら >>>



令和6年度決算審査

今回の決算委員会では、計12事業について具体的な成果の深堀り及び今後への繋がりを意識して質問させていただきました。

🏠 定住促進事業

「若者が暮らし続けたい町へ — 芽室の定住戦略」

- ・ 移住支援、情報発信、定着支援の取り組み状況
- ・ 成果(移住相談件数や移住者数の推移)
- ・ 課題(定着支援の不足、雇用や居場所づくりとの連動の必要性)
- ・ 今後：町民と一体で進める「選ばれる町」づくり

Point!

移住後の定着支援が不十分ではないかと質疑し、雇用や若者の居場所づくり、町民参加と戦略の連動の必要性を指摘しました。町は、相談対応や情報発信を継続しつつ、雇用や居場所づくりとも連携して進める姿勢を示しました。単なる移住支援だけでなく、移住後に「この町で暮らし続けたい」と思える環境づくりが重要です。

🎒 児童生徒支援事業

「子どもたちの学びと暮らしを支える — 教育環境の充実へ」

- ・ 学習支援や生活支援の取り組み内容
- ・ 支援人数や利用状況などの成果
- ・ 課題(家庭環境・貧困・不登校対応など、現場のニーズに追いついているか)
- ・ 今後：地域と学校が連携して子どもを支える仕組みづくり

Point!

子どもへの学習支援・生活支援が現場の実情やニーズに込えているのか、不登校や家庭の課題に十分対応できているのかを質疑しました。町は、支援体制を強化し、地域や学校と連携して子どもを支える方針を示しました。子どもを取り巻く課題は多様化しており、地域と行政が一体となって支える仕組みが求められます。

- 財政状況等の分析
- 食農理解促進事業
- 支え合い町づくり人材育成事業
- まちなか再生推進事業
- 訴訟事務
- 地球温暖化防止対策事業
- シティプロモーション推進事業
- 空家等対策事業
- 農作物有害鳥獣駆除事業
- 図書館維持管理事業

各事務事業における質疑の詳細はブログでも発信しております。



町議会議員 / 菊池秀明の日常のあれこれ

8月はイベントが続き、地域の皆さんと交流する機会が多くありました。「ジュニア&ミドルゲートボール大会」では世代を越えた真剣勝負に笑顔があふれ、納涼盆踊りでは夏の夜を彩る大きな輪を実感しました。さらに「十勝西部4町議会パークゴルフ大会」では他町議員との交流を深め、楽しくも学びのある時間に。改めて、人と人とのつながりが地域の元気を支えていると感じました。



参政党とは、「仲間内の利益を優先する既存の政党政治では、私たちの祖先が守ってきたかけがえのない日本がダメになってしまう」という危機感を持った有志が集まり、ゼロからつくった政治団体です。特定の支援団体も、資金源もありません。同じ思いを持った普通の国民が集まり、知恵やお金を出し合い、自分たちで党運営を行っています。

国民が政治に参加する /

参政党

SANSEITO

参政党に党員として参加希望

のかたは、参政党ホームページより参加できます。

右記 QR コードをチェック！

